

山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長

谷川 晴峰

仮想現実の世界から、少しでも距離を置きたいものです!

私が小さかった頃、正月が近付くと決まって流行る遊びがありました。理由はよく分かりませんが、次のような遊びだったと記憶しています。

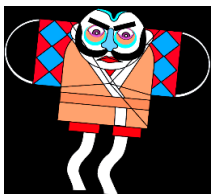
- * 凧揚げ
- * 独楽 (こま) 回し
- * 銀玉でつぼう (分かりますかねえ?)
- * 双六 (すごろく)
- * いろはカルタ (百人一首)

戸外は寒いので、室内での遊びも多かったようですが、昔は暖房器具もさほど普及しておらず、(あったのは、練炭式の火鉢くらいでした) 戸外も室内もあまり温度差がなかったような気がします。「お年玉」という言葉に憧れを抱いていましたが、当時はわずかな金額 (今では、目にする~~こともない~~ 100円札でした) 現代の子供たちは、数万円を手にすることさえ少なくないようですが、まさに隔世の感がします。(親戚が多く集まると、懐に響きますね!)

そして、時代と共に遊びの種類も、遊びの質も、遊びの形態も変化していきました。今は戸外に出ることもなく、室内での遊びが多いようです。テレビや、ゲーム機、或いはスマートフォンやタブレットを凝視して、黙々と指先を動かす……。テレビの無かった時代の人々が、もしも現代にタイムスリップしてきたら、きっと腰を抜かすでしょう。最近では、体全体を使う新種のゲームソフトも開発されているようですが、やはりあくまでも仮想現実です。

実際に野球をし、バットの真芯でボールをとらえたときの感触や、釣りをしていて魚が餌に食らい付き、ウキが海面から姿を消し、道糸や竿全体に流れ伝わってくる緊張感等は、ゲームでは決して味わうことができません。

子供たちには、「本物の体験」をしてもらいたいと思います。もうすぐ冬休み! 是非、御家族で昔懐かしい遊びに興じてみてください。何か新しい発見があると思います。



日本人の英語力を阻害している一要因…「和製英語」の存在?

私たちの周りには、多くのカタカナ語が存在しています。耳目にした時点で、「英語なんだ」と勘違いするような単語もあります。その大部分が、いわゆる「和製英語」だと思われま。この得体のしれない言葉たちが蔓延する原因を考えると、多くは企業やメディアにあるのではないかと思うのですが、この観点から企業の責任を追求する動きは感じられません。

商品名を印象付けるために「カタカナ」を用いると、カッコよく聞こえてしまうということもあるでしょう。一例として、日常的に使われている和製英語と正しい英語一覧を御紹介します。

- | | | | |
|-------------------|----------------------|--------------------|----------------|
| パン=Bread | フライドポテト=French fries | シュークリーム=Cream puff | ホットケーキ=Pancake |
| ピーマン=Green pepper | ガソリンスタンド=Gas station | カンニング=Cheating | メリット=Advantage |
| リフォーム=Renovate | ファイト!= Go for it! | キーホルダー=Key chain | トランプ=Cards |

国内で使用する場合 (日本人同士) は、意志の疎通もできますが、国外または英語を母国語とする人々との会話に用いると、「?????」が飛び交うことになるでしょう。十分に、お気を付けください!